

2014（平成26）年6月25日

2014（平成26）年度 私立短期大学図書館協議会 全国理事会 議事録

日 時：2014年5月15日（木） 14:00～17:00

場 所：南青山会館（農林水産省共済組合東京宿泊所）

出席者：16名（敬称略）

【本部】＜亜細亜大＞毛利 和弘、＜千葉経済大＞齊藤 誠一、
＜大手前大＞前川 和子、＜カリタス女子短大＞石田 孝夫、
＜聖徳大＞林 浩次、＜山野美容芸術短大＞久保田 智弘、
＜女子栄養大＞加藤 友子、以上7名

【地区】[北海道]＜北海道武蔵女子短大＞ 玉田 清市
[東北]＜修紅短大＞ 小林 薫子
[関東甲信越]＜埼玉東萌短大＞ 片野 裕嗣
[東海・北陸]＜名古屋柳城短大＞ 野々垣 文成・藤田 憲哉
[近畿] ＜藍野大＞ 藤本 啓子
[中国・四国]＜高知学園短大＞ 今村 優子
[九州]＜長崎女子短大＞ 森 弘行、荒木 恵子 以上9名

司会・進行：毛利（会長）

配付資料：①議事次第、役員名簿、出席者名簿 ②各地区報告書、通信等
③全国総会資料

1. 会長あいさつ

毛利会長より、最初に①地区協議会との情報交換、②総会開催にあたっての事前準備、③事業計画の今後の方針を決めること、など、理事会の目的について説明がなされた。特に、事業計画に関連し2016年度の全国研修会に対しては方向性(地区協議会との合同開催の可能性など)の確認をしたいとの話があった。次いで、研究誌(『短期大学図書館研究』)の団体賛助会員について、地区関係の賛助会員がほとんどなくなっている(研究誌編集の本部移行後)ことに対して、後ほど検討したいとの話があった。

2. 自己紹介

出席者16名の自己紹介。

3. 各地区事業報告

北海道から九州の順で、昨年度の地区事業状況、本年度の会勢と事業計画案が報

告された。

4. 総会について

事業報告、決算・監査報告、新役員、事業計画、予算案の確認を行った。

(1) 総会議長について

毛利会長より指名があり、北海道地区理事代理の玉田氏にお引受けいただいた。

(2) 事業報告、決算、監査報告

2013年度の事業報告の後、加藤氏から決算報告、久保田氏より監査報告があった。

(3) 新役員について

毛利会長より、会長が任期満了となるので理事会の承認がもらえるなら再任をお願いしたいとの申し出があり、了承された。なお、再任の推薦発言を九州地区理事の森弘行氏にお願いすることとなった。

(4) 事業計画、予算

2014年度事業計画案の確認の後、加藤氏より予算案について説明があった。

なお、全国研修会については、齊藤常任理事(研修担当)より、別紙資料「平成26年度私立短期大学図書館協議会全国研修会」(案)にもとづき説明があった。

検討の結果、基本方針は承認されたが、ディズニーシーへの娯楽性のイメージが伝わると出張も困難になる可能性があるので、「ディズニーシーパーク体験」の表現は工夫してほしいとの要望があり、誤解のないように修正することとなった。

(5) その他

毛利会長より、2016年度の全国研修会の件と研究誌の団体賛助会員に拡充の件について提案があった。

①2016年度の全国研修会に向けて

会長より、最初に全国研修会は関東甲信越地区を除き6地区の輪番で本部資金と参加費収入により実施されてきたが、加盟館の減少や図書館スタッフの減少により地区実施が難しくなり、地区候補が無い場合は、本部で実施することになった。また、本部と共同運営をしている関東甲信越地区協議会も全国研修会担当に含めることになり、そうした流れから、2014年度は本部と関東甲信越地区協議会との合同開催となったとの経過報告があった。

次に、2016年度の全国研修会及び今後の全国研修会について、予算のこともあり、関東甲信越地区との合同開催例のように各地区との合同開催ができないかとの話題提供があった。具体的には、企画・運営は本部が行い、地区は会場担当になってもらうという案。これに対して、地区理事が頻繁に変わるので引き受けが難しい、会場が辺鄙なところになると集客力に問題がある、等の意見が出された。

意見交換の後、会長から、候補地区があれば検討するので手を挙げてもらいた

いとのお願いがあった。

②研究誌(『短期大学図書館研究』)の団体賛助会員について

会長より、研究誌の編集担当が本部事業になってから、地区独自の団体賛助会員が平均 4~5 団体あったのが、ほとんどなくなっているため、各地区最低 1 件、理想 2 件を目途に勧誘協力をお願いしたいとの依頼があった。

対して、賛助会費と広告の関係について質問があり、名前のみで 1 万円、研究誌 B5 の半分広告 2 万円、B5 全面広告 3 万円、B5 全面広告とホームページバナー広告 5 万円との説明があった。また、最低ノルマの 1 件の金額は問わないのかとの質問があり、会長より問わないとの返答があった。

協力することで一致した。

(追加)

会長より、理事会で忘れたお願い事項があり、各理事に別途メールにてお願いが出された。内容は下記のとおり。

「協議会から年一回刊行されております『短期大学図書館研究』(通称:研究誌)の原稿についてです。研究誌の原稿の基本は、各地区で開催されます総会時の講演会、研修会開催時の基調講演、事例報告などを論考化してもらい原稿収集をしております。つきましては、各地区にて開催される事業において、講演講師や事例報告者に事前に研究誌への論考化のお願いをしていただきたく思います。時に論考化を拒む方もいらっしゃいますが、多くの方は引き受けてくださいますので、お忘れなく論考化のお話をさせていただきますようお願いいたします。研究誌に掲載することによって講演内容、事例報告内容が全加盟館の方々にも情報共有できるようにしております。ご協力賜ればと思います。担当は、木村理事になっておりますので、情報交換もお願いいたします。なお、一般論考も募集いたしますので、地区内に呼びかけていただく等、合わせてお願い申し上げます。会長 毛利和弘」

以上